

## 第2回議会モニター会議 記録

日 時：令和元年8月6日（火）

午後2時～3時45分

会 場：第2委員会室、501会議室（501会議室は、グループ分け時のみ使用）

出席者：議会モニター23人（氏名略）、議会改革推進会議委員（氏名略）

事務局：4人同席

### 議題

#### 1. 本日の流れの説明

#### 2. 上越市議会だより「かけはし」及び上越市議会ホームページについて、意見聴収 （意見P2～）

#### 3 本日のまとめ

（座長）

- ・さまざまな意見があり、非常に有意義であった。
- ・かけはしでは、関心の高い一般質問を中心にご意見があった。
- ・HPでは、3/4の市民は見たことがない現状。取っ掛かりが重要と認識した。
- ・かけはし、ホームページが、身近になるよう工夫していくための良い意見をいただけた。精査しまとめ皆さんに確認いただく。
- ・我々議会の見直しなどの対応を見守っていただきたい。

#### 4 次回以降の日程について

- ・次回となる9月議会日程（傍聴）は、既に案内している日程どおりの予定。  
8/26の正式決定後に再度案内する。
- ・第4回を10/17、第5回を11/25、それぞれ14時から開催する。（各回前に案内）

## いただいたご意見など

### 1 市議会だよりかけはし

#### (1) 全体を見ての感想

- ・今回、初めて読んだ。一般質問のページが身近な内容もあり、興味深かった。また、理事者側の回答からもいろいろ知れて良かった。
- ・いろいろな情報が記載してあり、ちゃんと読めばいろいろ知ることが出来る。
- ・今まで特集には目を向けていたが、毎回全部は読めていない。200号の文字が大きくて読みやすかった。
- ・今回、初めて読んだ。いろいろな議会活動が見えて良かったと思う。
- ・今まで、パラパラ読んでいただけで、今回、初めて全部読んだ。
- ・毎回読んでいる。
- ・今まで見たり見なかったり。
- ・今までもみてきた。よくできている。
- ・非常に工夫されていると思った。
- ・なるべく見てもらえるように作っているのは評価できる。
- ・興味のある方にとっては見やすく、カラフルで工夫している。
- ・表紙レイアウトや内容、字体が工夫されていて読みやすい。ロゴも毎号変えていてよい。
- ・見やすい、細かく書いてある。熱意を感じる。
- ・カラーで文字も大きく、見やすい。
- ・見やすいと思う。
- ・QRコードはよい。若者にも向いている。
- ・細かいところまで配慮されている。
- ・語句の説明があるのは親切。
- ・広報としては、前より見やすくなっている。

#### (2) 課題点、問題点（それに対する提案含む）

- ・一般質問のタイトルがあるところと無いところがある。  
(最初の質問のみ上段のタイトルに書かれていることを説明)  
それなら、タイトルを全て縦書きにしたらどうか。  
(それに対し、このままだも分かるという意見あり)
- ・複数からピンクはみづらいとの意見があったが、ピンクは明るくて良いと思うし、見づらくはないという意見もあり、また、見づらいという意見があるなら考えた方が良くもしいかなという意見も。

- ・一般質問は、ここに書いてある内容だけでは理解できない。  
抽象的な表現もあり、大雑把にしか分からない部分もある。
- ・提案された議案の内容が何なのか結局わからない。市のホームページを見れば議案書等はあるが、かけはしを見てもわからない。
- ・一般質問もみんなが違うことを言っていて、深く議論していない。
- ・一般質問のページ数が多すぎる。視察報告や意見交換にページ数を割くべき。
- ・一般質問等、盛り沢山すぎる。全てを書く必要はないと思う。3、4枚なら読むのではないか。
- ・本会議の報告に偏っている。確かに本会議での一般質問の内容報告は必要ではあるが、紙面が限られているので、要旨を抜粋した記載にしてはどうか。
- ・理事者側の回答が、その後どうなったか、議会としての追跡記事が必要では。
- ・質問、回答、同じパターンばかりで結果がわからない。次回に結果を載せるとか工夫を。
- ・一般質問での「検討します」の回答がその後出てこない。  
これでは、広報誌として魅力が落ちる。
- ・議会報とホームページに同じ内容はいらぬ。
- ・ページ数もここまでいらぬ。
- ・広報のような「お知らせ」記事があるわけではないので、見なくても済むのは確か。
- ・横文字多いのはどうか？読むか読まないかは別だが。  
(関連再掲：語句の説明があるのは親切)
- ・興味のある人にとって見ればいいかもしれないが、3分の1しか読んでいない人がいないことが問題。
- ・生活が大変で、議会だよりを読む時間はないし、読んでもよくわからない。
- ・議会改革は時系列で見ればわかるかもしれないが、1号だけ見ると分からない。

(以下、今回号に関する意見)

- ・意見交換会の意見が、1，2しかない。紙面の都合はわかるが少ない。
- ・議会表彰や改革度ランキング等の記事に紙面を割いている。  
議員が自画自賛している場合ではない。議員表彰に議員の写真は不要。
- ・特集の3つの課題に取り組みますとあるが、肝心の取組の前提にある3つの課題が何か載っていない。3つあるので分散して焦点がぼけてしまう。  
タイトルがよくないのでは。

### (3) 改善点、全体を含めてご提案

#### (全般)

- ・いろいろな情報が記載してあり、読めば知ることが出来る。このことを知らない人に対して、もっとアピールする必要があるのではないか。
- ・市民は市議会に興味ない。いかに良くても読まない。議員が地域に入る。
- ・1日号は全戸配布が10種類くらいある時も。見ようとする気持ち落ちる。半分はみていないのでは。  
現在検討されている広報月1回となれば、もっとそうなる。
- ・なかなか見ていない人は多い。まわりでは、広報1本でもよいのではという意見もあった。
- ・行政用語が難しいので、分かりやすい言葉を使ってはどうか。NHKの週刊こどもニュースを参考にしてはどうか。市の答弁もこんな長くなくてよいのではないか。

#### (一般質問関連)

- ・記載内容について、「こんな課題や背景があり、こんな対応を求める」といった感じにするなど組み立て方を工夫したらどうか。
- ・同じような質問の議員同士を近くにしてはどうか。
- ・成績表(その後どうなったか)のようなものが必要では。
- ・内容が難しいので、女性が身近で困っていることを取り上げてはどうか。

(例：202号の山田議員のインフルエンザ予防接種助成)

#### (その他記事)

- ・議会報告会・意見交換会で寄せられた意見とその対応の記載がほしい。
- ・市民は、視察にも注目している。抜粋でも載せるべきでは。  
ホームページにも載っているが、見ていない人もいる。  
かけはしは全戸配布であり、ここに記載した方がより多くの人が見ると思う。
- ・議員視察内容の記載も必要と思われる。(目的・結果・今後の活かし方)
- ・小中学校の議会学習について、どんな意見が出たかなど大きく詳細に載せてはどうか。(親や祖父母が必ず読む。)議会学習も何回も行くべき。

## 2 市議会ホームページ

### (1) 全体を見ての感想

- ・初めて市議会ホームページを閲覧した。良く出来ていると思う。
- ・いろいろな情報が掲載されているが、見やすかった。
- ・良く出来ていると思う。内容的には、良いと思う。構成としては悪くない。
- ・HPまでは、あまり閲覧しない。
- ・いろいろ情報は載っている。
- ・紙よりは、電子の方がとっかかりやすい。「かけはし」は電子版で見ている。
- ・年齢的に、ホームページより、紙がよい。
- ・ページとしてはこんなものではないか。

### (2) 課題点、問題点

- ・初めて市議会ホームページを閲覧した。関心のない内容については、どんな良いページを作成しても、見てもらえないと思っている。
- ・ホームページを開いても、見る気がしない。
- ・議会報とホームページ、同じ内容はいらぬ
- ・市のページは見ても、議会までなかなか見ない
- ・ほとんどみていない。半分クリアすれば十分。
- ・目が悪いので、インターネットは見れない。
- ・見る人はみる。見ない人は見ない。市のHPは使いにくい。
- ・ホームページは今の形になってから市全体がみにくい。  
見る人もことを考えていない。どこに何があるかわからない。  
議会のページも前よりみにくくなった。
- ・スマホではみにくい。市議会のバナー見えない。  
(スマホではバナーの表示は下の方。このことか?)

### (3) 改善点、全体を含めてご提案

- ・行政側で、こんな問題が起きている、といった内容を検索できるようにしては。
- ・行政側に対して議会としてどう考えているか検索できるようにしては。
- ・今後も、QRの活用などいろいろ苦心して、質を高めていってもらいたい。
- ・いろいろな情報について、速報性を持って伝えてもらいたい。
- ・市議会トップページの右側、白が大きい。なんとなくわかりにくい。
- ・各議員の活動内容とか、載せてはどうか。

- ・中継動画) 委員会はみにくい。委員会の方が議論は細かいし、誰が話しているのかわからない。アップでみたい。
- ・子どもの模擬議会や議会学習をかけはしに載せる代わりに、一般質問はホームページで見るとしてはどうか。
- ・(推進会議委員からの問いかけに対する意見)  
委員からの「議会独自のホームページは必要か」の問いに対し、そのグループでは、このままで良いという発言があり、その意見に対し別意見はなかった。

### 3 議会、議員に関するご意見

- ・自分の地元地域以外にも、1か月に1回とか、議員が率先して出る。
- ・一般の人は議員の活動を知らない。
- ・報告会には、支援者以外の一般の人ほとんどいない。
- ・一般の人と接する機会を増やすべきである。
- ・議員の意はよくみえる。が、私の期待する議論は少ない。  
「山村対策、少子化、未婚」がほしい。粘り強く、二の矢、三の矢で。  
かといって、議員側からの一方通行続きでは意味がない。
- ・かけはしより、議会に関心がないことが問題ではないか。
- ・アンケートの結果からみても、議員の活動が伝わっていない。難しい話をするのではなく、どうしたら市民に伝わるかを考えるべき。

### 4 その他意見

- ・会議録のUPが遅い。どうだったか確認したい時にまだ載っていない。録画中継はあるが文字で見たい。会議録が載ったころにはいいやとなってしまう。
- ・女性をぜひと言われ、女性の意見が聞きたいのかと思いモニターに来たが、議会モニターの主旨が分かりにくい。
- ・議会モニター制度のアンケート回収率の低さについては、まだ手を付けていないが、一番の問題であると思う。インパクトがあることなので、きちんと公表していくべきである。
- ・インターネットは若い世代が見るので、議員が一人一人のSNSのページを持ち、今日は何をしたかなど写真を多用して載せてはどうか。
- ・フェイスブックに、見ると得となる企画や議員の身近な動きを載せてはどうか。

## 第4回議会モニター会議 記録

日 時：令和元年10月17日（木）

午後2時～3時30分

会 場：第1会議室、第2委員会室、501会議室

（第1会議室、501会議室は、グループ分け時のみ使用）

出席者：議会モニター19人（氏名略）、議会改革推進会議委員（氏名略）

事務局：5人同席

### 議題

#### 2. 本日の流れの説明

#### 2. 9月議会の傍聴を終えて、3グループに分かれてのご意見聴取

（意見別紙）

#### 3 本日のまとめ

（座長）

- ・ 貴重なご意見をいただいた。非常に興味深く、確かだな、と思うこともあります。
- ・ 今日のご意見を記録として皆さんにお届けしたいと思います。第5回の記録も皆さんに送付させていただく。
- ・ 全5回が終了したのち、第2回、第4回、第5回のご意見を総括した内容も皆さんにご確認いただきたいと思います。

#### 4 次回以降の日程について

- ・ 次回となる第5回は、11/25（月）14時～となります。
- ・ 必要な書類等を含め、再度ご案内する。

## いただいたご意見など

### 1 本会議の感想、気になった点

- ・非常に勉強になった。
- ・第一印象は、静かな会議。
- ・久々に傍聴した。傍聴席は緊張した。
- ・初めて傍聴した。ここで市政が作られているという緊張感を覚えた。
- ・国会のような騒がしいのも想像していた。
- ・議会は国会中継をみたことがある程度で、市町村のものは見たことがなかった。
- ・他の市民の皆さんにもぜひ見てほしい、こういったことを広げて行ってほしい。
- ・10時から開始は、仕事をしている人間の感覚だと遅いと思う。
- ・スムーズな進行だったと思う。
- ・やり取りはスムーズに感じ、また、再質問も出ていた。
- ・通り一辺倒の回答と感じた。普通の質問、普通の回答だった。
- ・一般質問の時間は、30分は短いと思ったが、理事者側の答弁時間が含まれていないと分かり、納得した。議員の質問時間だけで30分は良いと思う。
- ・一般質問3人傍聴した。みな、持ち時間を有効に使っていたと思う。
- ・聞いていると、出来レースに感じる。しどろもどろになるのも問題だと思うが、もう少し白熱した議論がなぜないのかということは感じた。
- ・自分に興味のある内容でもなかったなので、眠くなった。
- ・聞かれる方も聞く方も内容が分かっている感じがした。
- ・議員はどのような立場で、なぜその質問をしているのかということを知りたかった。
- ・委員会も含めて議員同士の話し合いや議論をした上で来ているのかが分からなかった。
- ・たまたま傍聴した時の議員さんは一般質問終了後に傍聴席に来て、質問の趣旨や市長側の答弁の解説、なぜそういった質問をしたのかを説明してくれた。日程や議員さんの予定にもよると思うが、そういった形で傍聴者に説明してもらえると理解が深まるので、機会を作っていただけるとありがたい。
- ・議員はよくやっているが、そこからさらに深い質問があまりなかった。
- ・答弁を受けてそれで終わりではない。突っ込んだ質問をしていない。
- ・市政に対する問題意識はあるが、切迫感が感じられず、また、質問内容に深まりがなく表面的。
- ・議員それぞれ真剣に取り組んでいると思うが、平成10年～20年ころ何度か傍聴したが、問題に対する向き合い方がもっと真剣であったように思う。
- ・質問時間を有効に使っていないと感じた。(本題に不必要な発言が多いと取れる)



- ・再質問は、良いところも悪いところもあった。時間がかかるので、事前通告部分だけとし、細かいところは委員会で質問してもいいのではないか。
- ・質問内容は事前通告しているからなのか、質問と答えがあまりにもスムーズであった。(再質問もスムーズだった。)
- ・地元の津波の課題を取り上げているが、市民全体でいけば1割いるかいないかの課題。9割の人たちはどう思うのかが気になった。
- ・津波の課題は、地域の人間としては気になる課題。地元議員がいなかったら、この課題自体、質問として出たのかなと思う。
- ・この日は高田地区の質問もあったが、他の地域にとっては関係ない。地域の代表なのかもしれないが、地元のことはどうなのかなとも思う。例えば、13区の中山間地の課題、直江津民には関係ないが、広く議論しなければいけないのか。地域の課題は、こぢんまりと議論した方が、議論が深まるのでは。
- ・本会議は市全体のことを議論すべき、地域的な課題は委員会。
- ・議員としての在り方になるが、選ばれた議員なのだから、もっと、地元のことを収集して発言してもらいたい。
- ・自分の生活にかかわる内容だったので、とても面白かった。
- ・市長の最初の説明が長い。
- ・本会議は、理事者側の答弁がしっかりしていた。マイクもはっきりと聞こえた。
- ・再質問になると、理事者側の説明がギクシャクしていた。
- ・賛成討論や反対討論の歯切れが悪かったように感じた。
- ・(最終日を傍聴) 議案番号だけで中身がわからないし、その日は質問も出なかった。賛成、反対の討論だけで中身なく、何の緊迫感もない。
- ・議員が発言する際、議長が議員を番号で呼ぶのは、なぜか。不要では。
- ・理事者側が毎回議長へ礼をするのは、不要では。
- ・一般質問の際、理事者側に対する礼は必要なのか疑問に感じた。
- ・咳が出ていたため、ペットボトルを持ち込んだら、傍聴席には持ち込み出来ないとされた。飲み物があるのは、質問席のみ。見直しが必要では。
- ・入場前に、傍聴者への注意説明があって、よかった。
- ・資料は全てタブレットに入っているということだが、良い悪いは別として、手元に紙資料が無いことを異様に感じた。
- ・タブレットに資料を入れているのは良いと思う。
- ・紙資料なら付箋をつけたりメモしたりできるが、タブレットではどうなのか。
- ・傍聴席から見ていると、タブレットを見ている議員と、全く見ていない議員がおり、その差は歴然としていた。
- ・傍聴席から見ていると、タブレットで表示している画面がバラバラである。会議中なのに、なぜだろうと疑問に感じた。

- ・江口議員が一般質問時にパネルを使用する際、理事者側にカラーの資料を配布していたが、傍聴には資料が無く、よく分からなかった。資料に代わるものとして、スクリーンやプロジェクターなど導入の検討を。

## 2 委員会の感想、気になった点

- ・資料が非常にたくさんあると感じた。
- ・資料は素晴らしいが、これを見る議員さんは大変であると感じた。よく勉強されていると感心した。
- ・資料を作成する職員が大変だと思った。何時間も超勤しているのではないかと感じた。
- ・議員さんは事前に分厚い資料を読んできているのであるから、1事業ずつやるのではなく、もっと大きい区分の款項目の1款の中で質問ありませんかと聞けば無駄がなくなるのではないかと。何が効率的なのかを模索すべきではないか。
- ・企画政策部になると、理事者側の職員がたくさん入ってきて、驚いた。
- ・委員会室に入ったら、ずらっと人がいて驚いた。
- ・議員は資料を見て質問し、それに対して回答するのに、あれだけ人数がいるのか？
- ・行政側は担当が分かれており、人数が多いのは仕方ない。
- ・行政側の人数が非常に多いと感じた。職員は、他にもっと仕事があるのに、委員会のたびにたくさん来られるのだなと感じた。
- ・国会で大臣が答えるように、責任者（副市長、部長）が答える方がよい。担当課だと事務的。
- ・委員の質問に対し、理事者側の回答が合っていないことがある。
- ・委員は、市民目線で質問していると思った。それに対し、市の答弁が的外れだと思った。
- ・担当者の勉強不足を感じた。地元で職員と話ししたときも、ちぐはぐだった。
- ・行政の答弁が一辺倒で、最後は議員が根負けだった。
- ・日程や時間の関係で、理事者側の回答が中途半端でも納得せざるを得ない場合があるのか。
- ・時間が限られているのか、理事者側の説明に対する追及が足りないのでは。これでは、一種のパフォーマンスのように見える。やるなら、徹底的にやるべき。
- ・担当課の答弁スムーズ。国会のようなイメージがあったが、たんたんと進んだ。
- ・委員会は、一般質問のように事前通告しているのか。
- ・理事者側に対し、追及するだけでは問題の解決にならない。
- ・非常に細かい内容をやっていると思った。
- ・議員は地域を回って質問しているなと思った。
- ・けっこう突っ込んだ意見をしていた。
- ・かなり厳しくやりとりしていた。それに対し、答弁者も熱く答弁していた。いい委員

会だった。

- ・終わった話を事後承認の場、追認の場なのかと思った。ただ、承認だけの話ではなく、話が波及して色々な話をしていると思った。
- ・委員によって発言の頻度に差があると感じた。
- ・委員同士のやり取りがなかったのは、イメージが違った。
- ・委員と職員のキャッチボールであるが、他の委員さんが途中から関連して質問はできないのか。1人の委員さんの質問をつぶすのは良くないが、そのせっかくの質問をもっと活かすために多角的に、多面的な視野から質問を選んでいくのも大事だと思った。
- ・いい意味で、議員同士の仲が良く、緊張されてなく、とてもいいと感じた。
- ・委員以外の議員の傍聴が少ない。自分の所属委員会以外、あまり関心がないのかなと思った。
- ・委員会室が狭い。せっかくなら議場でやっても良いのでは。
- ・マイクが聞こえない。
- ・マイクをしっかりと使ってもらいたい。傍聴席では聞こえにくい。
- ・傍聴席自体が少なかった。市民自身が委員会に、関心がない、薄いからか。
- ・最初は、傍聴席に資料があることが分からず、話が入ってこなかった。途中から資料に気づき、そこからは話を理解できた。

### 3 議会、議員に関するご意見

- ・災害発生時、市議会全体として、状況把握に努めてもらいたい。議員が現場に来てくれれば、地域も安心する。
- ・モニターになって、議員が一生懸命で、よく勉強していることを知ったが、一般市民は選挙だけ頑張っ、後何をしているのかと思っていると思う。そのPRが下手だと思う。皆さんの方から地元等に会報を出していると思うが、それは読まないと思うので、もっと地元で顔を出す機会を増やすべきと感じた。

### 4 その他意見

- ・地域活性化にむけて発言したい。各地域では振興会などでいろいろな事業をやっているが、市からの委託削減で資金がなくなっている。市は地域活性化といっているがこうした対応は疑問。
- ・上越市は、いい観光資源がありながら、活かしていない。議員が将来ビジョンをもって提言し、また、活動してもらいたい。また、議員からこの資源を売りにしたらどうかと提案してもらいたい。
- ・公共交通の課題。なぜ高齢者が車の利用か。それしかないから。考えはあるか。
- ・市が良くなるには職員が勉強不足、先進地に行き、下が上に提案する。トップダウンでは行革は難しい。

## 第5回議会モニター会議 記録

日 時：令和元年 11 月 25 日（木）

午後 2 時～3 時 30 分

会 場：第 1 会議室、第 2 委員会室、501 会議室

（第 1 会議室、501 会議室は、グループ分け時のみ使用）

出席者：議会モニター 19 人（氏名略）、議会改革推進会議委員（氏名略）

事務局：5 人同席

### 議題

#### 3. 本日の流れの説明

#### 2. 市議会全般について、3 グループに分かれてのご意見聴取

（意見別紙）

#### 3 本日のまとめ

（座長）

- ・今後、これまでいただいたご意見をさらに検証し、その中でも議会が一步でも進化できるよう対応案をまとめたいと思っています。まとめた内容は、議長へ報告しますが、もちろんモニターのみなさんにもお知らせします。
- ・来期も議会モニターに取り組む予定としているので、引続きご協力いただけると幸いです。

（議長）

- ・我々が気づけない意見をたくさん出していただきました。
- ・これからも議会モニター制度は続けていきます。ぜひ、次回も手を挙げてほしいと思っています。

## いただいたご意見など

### 1. 本会議・委員会に関する意見

#### (本会議について)

- ・限られた時間内でやっているのので、質問も答弁も中途半端である。今回、傍聴し、そのように感じた。
- ・地域限定ではなく、上越市全体を考え、人口減少、企業誘致など上越市全体の問題を質問すべき。
- ・ある一般質問で地域の重要な課題が出たにもかかわらず、その地域の人の傍聴者がいなかった。その地区の人が、いつ、その課題についての一般質問をするのか知らないからではないか。
- ・議員のいない地区の質問がされていないのは課題。
- ・ある一般質問について、実情と違ったやり取りがあった。結局質問と答えのみで、その後どうなるのかが決まらない。
- ・一般質問だけでなく、総括質疑と討論も面白いのではないか。会派の考えを聞くのも面白いのではないか。
- ・一般質問について、1日に何人がやるかを決めてほしい。そうすれば何日の何時に誰が質問するかある程度分かるのではないか。

#### (委員会について)

- ・傍聴席ではやり取りが聞こえない。(行政側の声を通らない)
- ・行政の答弁がうやむやで、議員も引き下がって終わってしまう。しっかり時間をかけ充実を。
- ・委員会室が狭く、傍聴スペースが狭い。
- ・委員会の日数が少ない。1週間やるくらいでないと。もう少し細分化した方がよりよい議論ができるのではないか。
- ・限られた時間内でやっているのので、質問も答弁も中途半端である。今回、傍聴し、そのように感じた。

#### (本会議・委員会の中継について)

- ・本会議や委員会は、ネットで録画中継を閲覧できるが、時間がある人しか見ることができない。
- ・費用面の問題はあるだろうが、委員会中継も本会議のように質問者と答弁者の切替えが出来ると良い。
- ・委員会中継も本会議中継同様、JCVでできないか。

### (傍聴について)

- ・傍聴者の人数を増やすためには、各区の防災行政無線等を活用し、本会議と委員会の開催を周知してはどうか。周知が足りないのでは。
- ・傍聴の人数を増やすためには、議員から後援者や知り合いにアプローチしたほうがよい。一般質問の頻度も増えるのではないか。
- ・一般質問内容が事前に分かれば、興味のある質問内容の傍聴に来るかもしれない。質問内容に関心があるからこそ来るもの。
- ・傍聴できることを知っている人自体が少ない。どこに行って、どうすればいいといった案内を広める。
- ・委員会の時は細かい資料が傍聴席にあったが、一般質問の時は手元になく、議員が出しているパネルも見えない。
- ・本会議の時にフリーで撮影できるよう環境を整えてほしい。手続きが必要なら、簡単な手続きにしてほしい。
- ・10年以上前に、傍聴に行こう！ツアーがあり、行ってみた。それで、その頃は関心を持った（最近は関心が薄れたが）。こうした傍聴に来てもらう仕掛けもあるのでは。
- ・より多くの市民が傍聴するには、休日・夜間に開催してみてもいい。
- ・本会議場や委員会室での傍聴という考えに捉われず、市民ロビーなどで流し多くの人に見てもらおう。とはいえ、現在の固定カメラの画面では関心UPは期待できない。
- ・開催日時、質問者、内容を周知する。議員自ら地域の老若男女に声掛け、招待する。そして、傍聴者の感想を議会だよりに掲載し、関心度を高める。
- ・傍聴した市民がよかったと周囲に語ることで、新たな傍聴者が期待できる。市民への意識改革とともに議会改革も不可欠。
- ・投票率が低く、市民が政治に関心が無い時点で、傍聴者を増やすのは難しいと思う。議会への関心を高めるためにも、まずは投票率を上げるべきである。例えば、ショッピングセンター等に投票所を設けて、そこで投票するとポイントが還元されるといったような制度を設けてはどうか。期日前投票イコール投票率が上がるとは思っていない。もう少し投票率を上げる検討をする必要がある。
- ・定例会において、予算や決算など、目玉の議案があれば、それを地元紙等に掲載してはどうか。そうすれば、傍聴してみようかな、と思ってくれる人もいるのでは。ただ、これも特効薬にはならないと思っている。
- ・1か月前くらいには議会日程をわかるようにしてほしい。来庁者向けに、1か月前から市役所に掲示するのもよいのではないか。
- ・議会日程をペーパーでお知らせをするだけでは足りない。
- ・いつの委員会で何を審議するのかが分かるように、ホームページで検索できればよい。

## 2. 議会報に関する意見

- ・今まで全然関心なく、かけはしも読んだことがなかった。
- ・一般質問のページは、読者が興味を持てる、とっつきやすい見出しが必要。それこそ、週刊誌的な見出しでもよい。

## 3. 議会の見える化・活性化に関する意見

### (議会モニター制度について)

- ・モニターになって議会の活動をいろいろ知ることができた。こうした機会を増やしてもらいたい。
- ・周りに人にも、モニターのことを伝えたい。
- ・議会モニターを毎年継続すれば、市民に少しでも知ってもらえる。若い人からも。モニターは長期的な視野で。
- ・今回のような区単位のモニターはもう少し継続すべきであり、12月定例会も聞いてみたいので、年間を通してやってみてはどうか。
- ・議会モニターの取組は良いが、町内会長協議会経由で依頼すると、何らかの役職のある人がモニターになってしまう。幅広く募集してはどうか。
- ・議会モニターはやってよかったとは思いますが、誰にお願いするかについては、難しい。自分から手を挙げる人は少ないのではないか。
- ・議員のいない地区であり、選挙でも誰に入れればいいかわからない状況だったが、モニターをやって、議会について友達に説明する機会もあったので有効であった。
- ・市のホームページも見ないし、地区内に議員もいないが、勉強になった。別の方にも議会モニターを経験してほしい。

### (議会の見える化について)

- ・上越タイムス等でも議会の活動が掲載されており、モニター制度を開始し意見を収集しようとしていること、情報発信しようと頑張っていることが分かった。
- ・例えば、上越タイムスなど、週1回、必ずニュースとして取り上げてもらう。とにかく発信していく。議会全体として、うまくマスコミを使う。普段の活動内容を多く書いてもらう。議会活動を定期的に多く広報する仕組みが必要。
- ・先日、新聞で上越食料農業農村議員連盟の視察の記事を見た。こうした活動が市民に伝わるように、積極的にメディアの活用を。また、自らも、その結果、こういうことを考えていくなどと発信していく。それが、議員は頑張っているなと思われ、期待感につながる。
- ・議会の活性化に向け、地道に情報発信していくしかない。
- ・模擬議会を新聞で見た。子ども達から政治に興味を持ってもらうための良い取組だと思う。中学生は、3年後には選挙権を得るため、今後に期待したい。

- ・吉川中の模擬議会を見た。このように、子どもの時から議会に触れる教育が必要。小中の教育から、大事さ、身近さを伝える。長期的なスパンが必要。
- ・模擬議会は、とても良い取組だと思う。
- ・普通の人には市役所に来ることはないので、模擬議会や議会モニターはとても良いと思う。子どもへの声かけや、議員の皆さんから声かけするのがよい。
- ・議会報告会について、町内会長や地域協議会の人ばかりで一般の人がいない。これを増やすことから始まるのではないか。
- ・アンケートの回収率の低さが市議会や議員に対する意識の低さを表しているのではないか。議会の見える化の前に市民の意識改善が必要であり、議員の日頃の活動を皆さんに伝えることが必要。
- ・議員だけの責任ではなく、市民も自ら選んだという責任はあるが、それを市民に求めるのは無理なので、議員の日頃の活動の周知が必要。
- ・傍聴者や傍聴の機会を増やすためのアイデア、議会の見える化へのアイデアを考えたが、特効薬は無いのではないかと、思っている。
- ・関心のない人には何をしても厳しいとは思う。特効薬はない。
- ・議員は何をしているかわからない。

#### 4. 議会・議員の活動に関する意見

##### (議会の活動について)

- ・例えば、県の借金問題は議会の責任もあると思う。これでは、議員はいてもいなくても同じと一般の人はそう見る。市民の代表の議員が行政の暴走をとめるのが、メインの役割であり、市民に迷惑がかからないようにチェックを。
- ・最近行政からは決まったものが下りてくる。決まったものは意見が通らないし、審議もできない。議会がしっかりしてほしい。議会は、行政の追認をするだけでなくしっかりチェックを。
- ・令和2年度当初に見直される総合事務所の時間外受付について、当直が配置されなくなる総合事務所もある。火災や停電の発生、クマの目撃等については、時間外受付を開設する総合事務所から無線で放送するようなシステムを議会から要望してほしい。また、住民への周知をより丁寧に行ってほしい。
- ・上越市には、病院、学校、保育園、交通など多くの課題がある。こうした課題に市議会がどうしているのかが見えてこない。
- ・関心の高い内容を議論するときは、地域へ赴き多数の市民が傍聴できる施設を使い、委員会を開催してほしい。
- ・市民と一緒に考える政策懇談を通して活動の見える化を図れないか。委員会は地域へ説明・意見聴衆に出向くことが必要。
- ・先日の災害現場視察の際、地元には市議会視察のことは伝わっていなかった。せつか



く来るのだから、担当部署だけでなく、地域の声や要望を聴くべき。

#### (議員の活動について)

- ・議員は一生懸命やっていると思う。
- ・議員からは、人口減少問題に対する危機感が伝わってこない。
- ・地方は人がいなくなっており、サービスが無くなるのはしかたない面もある。市民にどう理解してもらえるか。議員はその説明も仕事ではないか。しっかりやってもらいたい。
- ・結婚しない若者が増えている。行政も議員も、婚活支援に取り組んでほしい。
- ・進学のための転出した学生等は、働く場所が無いと地元に戻ってこない。議員から、もっと働く場所が増えるよう誘致するための取組を考えてもらいたい。
- ・議員から地域活性化に関する政策を提案するため、もっと行政側と突っ込んだやり取りをしてほしい。
- ・農業や福祉など分野ごとに精通したエキスパート議員を作ってはどうか。
- ・議員の政策提言能力を高めてほしい。
- ・地域の特性だけでなく、市全体のビジョンを感じられるように活動してほしい。
- ・牧区には市議がない。議員から中山間地へ足を運んでもらい、現状を見て、声を聞いてほしい。
- ・積極的に地域に足を運び、市民と対話を交わし、意見を吸い上げることが出来る議員であるべきだと思う。
- ・自分の地域のことだけではなく、広い視野で活動してもらいたい。
- ・今以上に、市民生活によって重要な情報や政策を分かりやすく説明する工夫と努力を進めてもらいたい。
- ・視察先として提案。外国労働者が多い地域にいき、どのように生活させているか。
- ・視察して終わりではなく、政策提言につなげてほしい。

#### 5. その他の意見

- ・名立区では、防災行政無線の放送は、朝から晩までクマやイノシシの目撃放送ばかりで、市全体に関する放送が少ない。
- ・牧区では、人口減少と少子高齢化が進んでいる。昔、役場で担っていた地域の活性化をもっと市（総合事務所）でリードしてほしい。
- ・具体的な政策が見えない。
- ・労働者として外国人を連れてくる。そして、その人たちをどう生活させるか。
- ・どのように観光客を呼ぶか。キューピッドに外国人呼ぶとかもどうか。
- ・とにかく、いろいろなお金を引っ張ってきてくれればよい。
- ・昔住んでいた空き家を所有していたが、数年前に取り壊した。取壊し後、固定資産税が高

額になり、空き家にしておいた方が良くらいだ、と感じた。空き家対策を考えた時、施策的にどう思うか。

- ・鳥獣による被害は、中山間地全体の問題であり、対策に努力してほしい。
- ・イノシシやサギによる鳥獣被害対策として、補助金をもらって電気柵を設置した。ぜひ、今後も継続していただきたい。

#### (地域協議会について)

- ・地域支援事業、直江津地区は1次では余り、2次では、このテーマは？というのがあがってきた。余らせた方がよいのでは？のレベルである。
- ・公募では手をあげる人はなく、地域のそれなりの発言力の人ばかりで、一般がいない。はたして公募がいいのか？市から指名制でどうか？そうすれば、政治に対する関心アップにつながる。何かを経験するのはよいことである。このモニターも。
- ・地域協議会を活かしていくには、運用を見直すべきである。
- ・地域支援事業の審査において、町内の祭りとかには使わず、施設の老朽化など地区全体のものなど、その地域でどうやって生かすかとの扱いとした。結果300万円活用しなかった。